Tostem

トステム株式会社

# ライザーテラス/セイバーテラス用 自在桁 取付け説明書

※ 🗔 内は、ロットNo.表示位置を示します。

### ■施工される方へのお願い

- ●本製品施工の際は、ライザーテラス・セイバーテラス本体に同梱の取付け説明書と併せてご使用ください。
- ●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

### A 注 意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

### ●設置条件

- ・本製品は木造住宅の3階以下に取付けられる設計となっております。4階以上の高所には取付けないでください。
- ・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- ・他社商品(バルコニーなど)と組合せて設置しないでください。
- ・本製品はタイプ・サイズごとに設置可能な階数が決まっています。下記の表にしたがって取付けてく ださい。

### ■ライザーテラス・セイバーテラス

	1階	2階	3階
3 · 4尺	0	0	○ (関東間のみ)
5・6尺	0	0	×
7~10尺 12·15尺	0	×	×

### ■ライザーテラス・セイバーテラス 下止めタイプ

	1階	2階	3階
3 · 4尺	0	0	0
5~6尺	0	0	×

※3.0間通しは、1階のみ設置可能です。

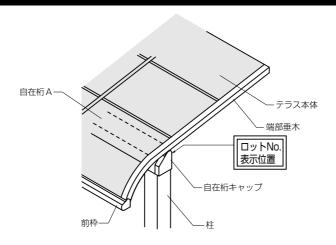
### ●部材の固定

- ・組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。また、使用中緩まないように締付けてく ださい。
- ●施工時の足場について
- ・施工時は必ず足場を設け、転落などの危険がないようにしてください。
- ●施工上について
- ・施工は専門業者が行ってください。
- ・みだりに改造・変更をしないでください。
- ・当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- ※水漏れのおそれがありますので下記事項をお守りください。
- ●シーリングについて
- ・シーリングは指定個所に必ず行ってください。

### ■施工上のお願い

●水平・垂直は水準器などで正確に出してください。

### ■構造説明図



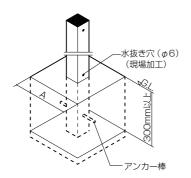
### ■取付け順序

### ■ 基礎施工および垂木掛けの取付け

●垂木掛けおよび長尺柱、自在桁用長尺柱を施工してください。

※垂木掛けおよび柱の施工は、ライザーテラス・セイバーテラスの取付け説明書をご参照ください。

※コンクリート施工は骨組完了後、屋根材を組込んだ後に行ってください。アンカー棒は必ず施工してください。



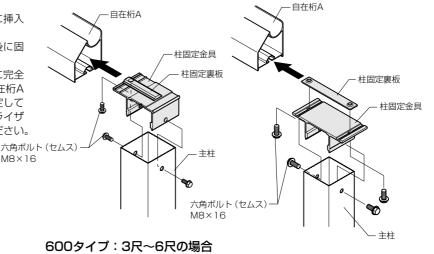
### ■基礎サイズ表 (A寸法)

タイプ	出幅	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0
	3尺					
	4尺					a_
	5尺	_				□350
	6尺		3	OC	)	
600	7尺	_				
タイプ	8尺					□500
	9尺					
	10尺					
	12尺		_ 5	OC	)	□550
	15尺					⊔ວວບ

タイプ	出幅	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0
	3尺					
	4尺					
	5尺					
1500	6尺		30	00		
タイプ	7尺					
	8尺					
	9尺					
	3尺					
3000	4尺		50	$\mathbf{a}$		
タイプ	5尺		S	טכ		
	6尺					

### 2 柱と自在桁Aの組付け

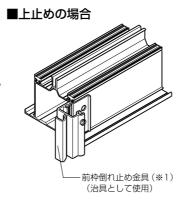
- ①柱固定金具を柱固定裏板に取付けたまま自在桁Aの溝に挿入 し、仮固定してください。
- ②柱固定金具を柱に差込み、自在桁Aの位置出しをした後に固定してください。
- ※連棟の場合は、柱固定金具を最初に取付けた自在桁Aに完全にのみ込ませます。自在桁Aの連結が終了した後、自在桁A全体を移動させ、位置出しを行い、柱と自在桁Aを固定してください。柱の施工およびバルコニー連結の場合は、ライザーテラス・セイバーテラスの取付け説明書をご参照ください。

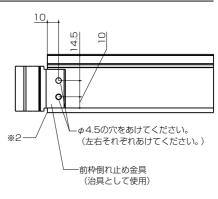


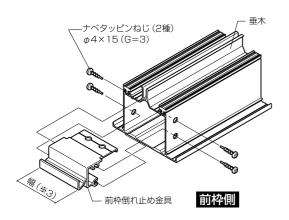
### 3 垂木の加工

①中間垂木、端部垂木の前枠側に前枠倒れ止め金具取付け用のφ4.5の穴を垂木の両側にあけてください。前枠倒れ止め金具を治具としてください。(※1)金具の段落ちした部分を垂木端部にあててください。(※2)穴あけ加工時には端部を合わせてください。(※2)

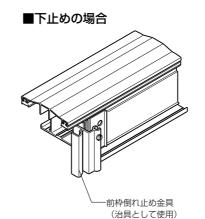
下止め用端部垂木には、あらかじめ1カ所穴加工がしてあります。 ②①で加工した中間垂木、端部垂木に前枠倒れ止め金具をナベタッピンねじφ4×15で組付けてください。(前枠倒れ止め金具を固定するねじのうち、上側のねじは仮固定ねじです。)

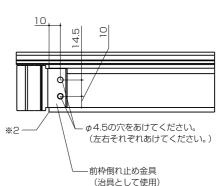






※前枠倒れ止め金具には中間用と端部用の2種類あります。 中間用は幅が40mm、端部用は幅が38mmです。(※3)



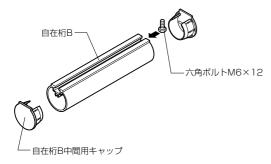


### 4 自在桁Bの組立て

### ■上止めの場合

### ① 端部垂木用

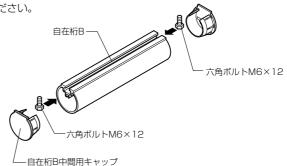
●自在桁Bに六角ボルトM6×12を1個挿入して、 自在桁B中間用キャップを取付けてください。



### 2 中間垂木用

自在桁B

●自在桁Bに六角ボルトM6×12を2個挿入 して、自在桁B中間用キャップを取付けて ください。

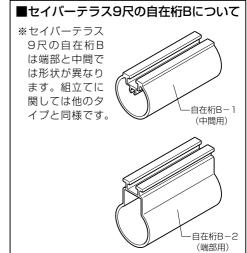


### ■下止めの場合(最後に取付ける側)

### ① 端部垂木用

- ①自在桁Bに六角ボルトM6×12を1個挿入してください。
- ②自在析Bに自在析B中間用キャップと自在析B抜け防止用キャップを取付けてください。
- ※反対側の端部垂木用自在桁Bは 上止めと同じです。
- ※自在桁B中間用キャップには穴はあいていませんが自在桁B抜け防止用キャップには穴があいています。
- ③抜け防止金具を取付けてください。 ナベタッピンねじ

# 

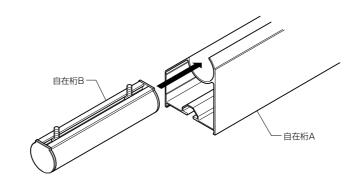


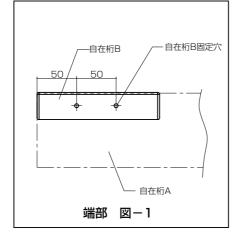
### ② 中間垂木用

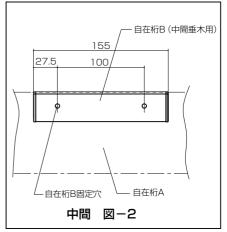
●中間垂木用は上止めと同じです。

### **⑤** 自在桁Bの取付け

- ①「**個自在桁Bの組立て」**で組立てた 自在桁Bを自在桁Aに挿入してく ださい。
- ②自在桁Aの両端部には、端部垂木 用自在桁Bを挿入してください。
- ③自在桁Aの中間部には、中間垂木 用自在桁Bを挿入してください。
- ④下止めは、抜け防止金具をつけた 自在桁Bを端部に挿入してください。
- ※セイバーテラス9尺 (1500タイプ) の場合、端部垂木には自在桁B-2 を取付けてください。
- ※順序を間違えると垂木の取付けが できなくなります。
- ※端部垂木用の自在桁Bは、自在桁A の端部と端部を合わせてください。 (図-1参照)
  - 中間垂木用の自在桁Bは固定穴の中心においてください。 (図-2参照)



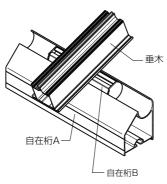


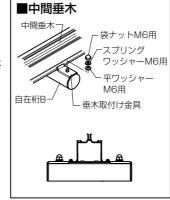


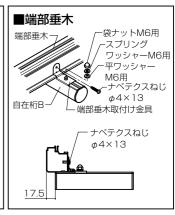
### 6 自在桁と垂木の組付け

### ■上止めの場合

- ①中間垂木、端部垂木を取付けてください。 ※垂木の取付けは「ライザーテラス・セイ バーテラス」の取付け説明書をご参照く ださい。
- ②自在析Bと垂木を垂木取付け金具を用いて固定してください。端部垂木は、端部垂木取付け金具とナベテクスねじφ4×13を用いて固定してください。
- ※中間垂木を取付ける自在桁Bは固定穴の中心に取付けてください。端部垂木は自在桁Bの端部から約17.5mmはみでた位置になります。

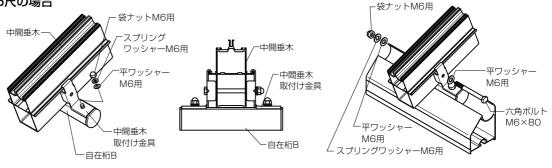






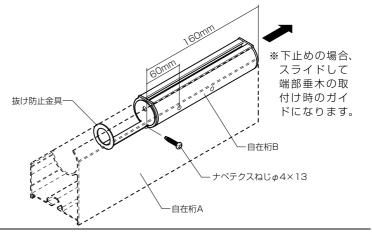
### ■セイバーテラス 12・15尺の場合

- ①中間垂木取付け金具で中間垂木を仮固定してください。(取付けは袋ナットM6用を用います。)
- ②取付け金具にあいている 穴を利用して、中間垂木 にφ7の穴をあけてください。 (貫通です。)
- ③②の穴に六角ボルトM6× 80を通して固定してくだ さい。



### ■下止めの場合(最後に取付ける側)

- ①抜け防止金具がついている側の自在桁Aに端部から160mmの位置に ナベテクスねじ $\phi$ 4×13を取付けてください。
- ※下穴はあいていません。
- ※このねじが、抜け防止用ねじになります。これにより自在桁Bは約40mm外側にスライドして下止め時のガイドになります。
- ②「**■上止めの場合」**と同様に中間垂木、端部垂木を取付けてください。 ※垂木の取付けは「ライザーテラス・セイバーテラス下止め」の取付け 説明書をご参照ください。



### ☑前枠の組付け

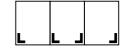
①倒れ止め金具に前枠を引っ掛けて垂木側に回転させてください。

※前枠の施工は「ライザーテラス・セイバーテラス」の取付け説明書をご参照ください。

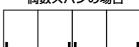
②倒れ止め金具を固定しているナベタッピンねじ $\phi$ 4×15の上側のねじをいったんはずして、前枠固定金具を前枠に引っ掛け、再度ナベタッピンねじ $\phi$ 4×15で固定してください。なお、前枠固定金具の取付け位置は両端部垂木と、中央の垂木の2カ所に取付けてください。(下止めのスライド部品をつける端部垂木には取付きません。)

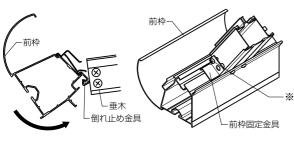
③前枠固定金具の取付 け位置は両端部垂木と、 中央の垂木連棟する 場合は連棟部の垂木 の2カ所に取付けて ください。

## ■前枠固定金具取付け位置 奇数スパンの場合

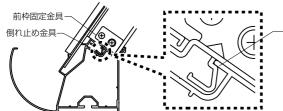


### ■前枠固定金具取付け位置 偶数スパンの場合





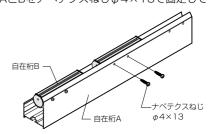
-※倒れ止め金具を取付 けている上側のねじ を外して固定金具と 共締めしてください。



- ※倒れ止め金具の溝に 前枠がはまるように 調整してください。

### 8 自在桁AとBの固定

●自在桁AとBをナベテクスねじφ4×13で固定してください。



### 9 自在桁キャップの取付け

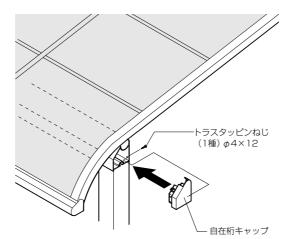
- ①自在桁キャップの図の位置にシーリングを してください。
- ②自在桁キャップを取付け、キャップ取付け 用の穴加工をしてください。

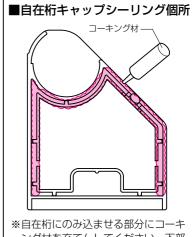
(φ3.5 位置は下図参照)

③自在桁キャップをねじ止めしてください。

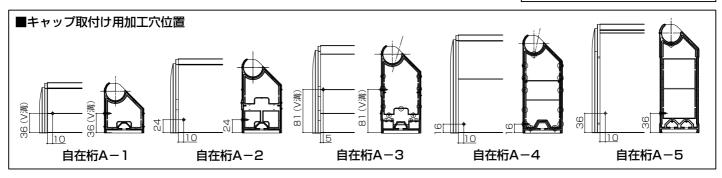
### ▲注意

●指定の個所にコーキング材を 充てんしてください。





※目在桁にのみ込ませる部分にコーキ ング材を充てんしてください。下部 は必要ありません。



### ⑩連棟時の取付け

- ①自在桁Aに連棟スリーブ取付け用の穴加工をして ください。(図-3、図-4参照)
- ②①で加工した穴を写し穴にしてナベテクスねじで連棟スリーブを取付けます。
- ※連棟スリーブは片側の自在桁Aに取付けた後、残りの自在桁Aに挿入して固定してください。
- ※連棟部に取付ける自在桁Bの取付けは自在桁Aを またぐように取付けてください。残った穴は穴 ふさぎシールでふさいでください。
- ※連棟スリーブには下穴があいていないものもあります。その場合は、連棟スリーブを150mm自在桁にのみこませて、ナベテクスねじで固定してください。

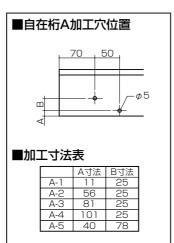
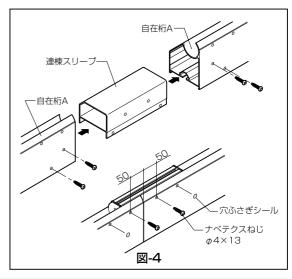


図-3



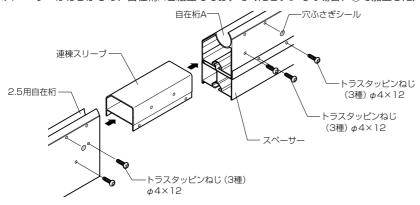
### ■A-1・2自在桁の連棟

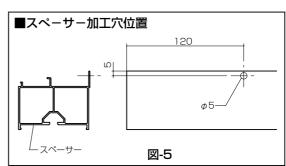
①自在桁A-1+スペーサーの場合、スペーサーの連棟部に穴加工をしてください。(図-5参照)

②自在桁A-1、2、3の連棟部に「**⑩連棟時の取付け」**を参考に加工してください。

③スペーサー、連棟スリーブを固定してください。

※スペーサーはあらかじめ、自在桁Aと組立てておいてください。その場合、①で加工した穴はスリーブを挿入後にナベテクスねじで固定してください。



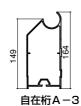


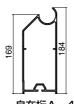
### ■参考納まり図

### ■自在桁使い分け表

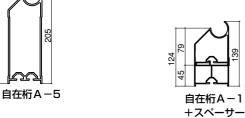








自在桁A-4





※自在桁A-2+スペーサーで使用するスペーサー は、テラス本体で使用するスペーサーを流用し ます。

### ●600タイプ

出幅	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し(関東間)
3尺					
4尺		A-1		A-2	A-3
5尺		A 1		_ ^ _	Λ 0
6尺					
7尺					
8尺		A-2		A-3	A-4
9尺		^ L		_ ^ _	
10尺					
12尺				A-5	
15尺				4-5	

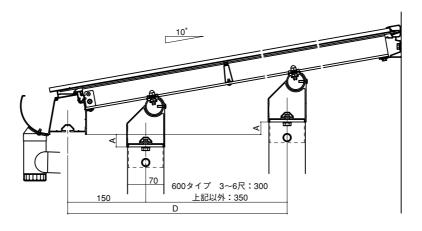
### ●1500タイプ

出幅	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し
3尺				
4尺		A-3		A-4
5尺		A-3		A-4
6尺				
7尺				
8尺		A-4		
9尺				

### ●3000タイプ

出幅	1.0間	1.5間	2.0間
3尺			
4尺		A-5	
5尺		7 3	
6尺			

### ●セイバーテラス



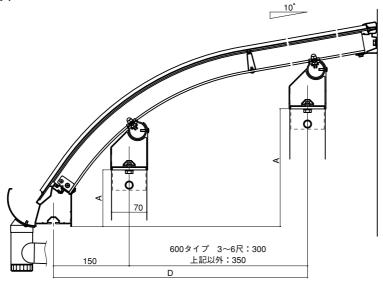
### セイバーテラスA寸法表

					600タイプ						1500 3	タイプ		3000タイプ
柱移動距離 (mm)	1	.0間~2.0間	l		2.5間通し		3.0間通し			1	.0間~2.0間	2.5間通し	1.0間~2.0間	
(11111)	3~6尺	7~10尺	12・15尺	3~6尺	7~10尺	12・15尺	3~6尺	7~10尺	12・15尺	3~6尺	7・8尺	9尺	3~6尺	3~6尺
150	-24	-69	-188	-69	-94	-188	-94	-114	-188	-69	-89	-110	-89	-134
200	-15	-60	-179	-60	-85	-179	-85	-105	-179	-60	-80	-101	-80	-125
250	-6	-51	-170	-51	-76	-170	-76	-96	-170	-51	-71	-92	-71	-116
300	3	-42	-161	-42	-67	-161	-67	-87	-161	-42	-62	-83	-62	-107
350	12	-33	-152	-33	-58	-152	-58	-78	-152	-33	-53	-94	-53	-98
400	21	-24	-143	-24	-49	-143	-49	-69	-143	-24	-44	-65	-44	-89
450	30	-15	-134	-15	-40	-134	-40	-60	-134	-15	-35	-56	-35	-80
500	_	-6	-125	-6	-31	-125	-31	-51	-125	-6	-26	-47	-26	<b>-71</b>

※A寸法がマイナスの場合、その分柱を深く埋込むか、切断してください。 プラスの場合は長尺柱を使用して、その分長くしてください。

※600タイプで出幅3尺の場合、401mm以上は野縁が取付けできなくなるため、施工できません。 ※600タイプは351~449mmの範囲では、野縁が取付けできなくなるため施工できません。

### ●ライザーテラス



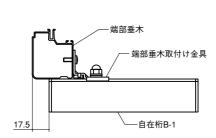
ライザーテラスA寸法表

			600タ	マイプ			1	500タイプ		3000タイプ
柱移動距離 (mm)	1.0間~	~2.0間	2.5間	通し	3.0	引通し	1.0間~	~2.0間	2.5間通し	1.0間~2.0間
(11111)	3~6尺	7~10尺	3~6尺	7~10尺	3~6尺	7~10尺	3~6尺	7~9尺	3~6尺	3~6尺
150	112	67	67	42	42	22	67	47	47	1
200	146	101	101	76	76	56	101	81	81	35
250	173	128	128	103	103	83	128	108	108	62
300	194	149	149	124	124	104	149	129	129	83
350	206	161	161	136	136	116	161	141	141	95
400	215	170	170	145	145	125	170	150	150	104
450	224	179	179	154	154	134	179	159	159	113
500	_	188	188	163	163	143	188	168	168	122

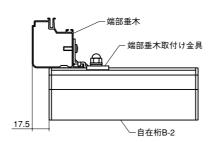
※A寸法がマイナスの場合、その分柱を深く埋込むか、切断してください。 プラスの場合は長尺柱を使用して、その分長くしてください。

※600タイプで出幅3尺の場合、401mm以上は野縁が取付けできなくなるため、施工できません。 ※600タイプは351~449mmの範囲では、野縁が取付けできなくなるため施工できません。

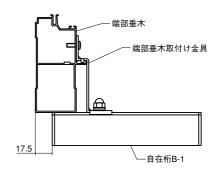
### ■端部垂木取付け金具納まり図



セイバーテラス (3~8尺) ライザーテラス (3~10尺)

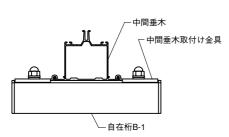


セイバーテラス (9尺) 1500タイプ

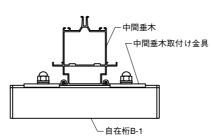


セイバーテラス (12・15尺)

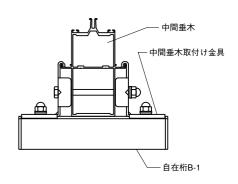
### ■中間垂木取付け金具納まり図



セイバーテラス (3~8尺) ライザーテラス (3~10尺)



セイバーテラス (9尺) 1500タイプ



セイバーテラス (12・15尺)

### ●自在桁セット

●自在桁セット								E	3 3	Kłt						員 数									
							(	_	<u>、</u> )タ.		ĵ														
Ø ₽r	m< 100	1	.Of	1	1	.5	間	2	2.OF	9	2.5	5間道	∄U	3.0	D間道	重し									
名 称	略図	3~6尺	フ 10 尺	12 15 尺	3~6尺	フ 10 尺	12 · 15 尺	30~6尺	フ 10 尺	12 15 尺	3~6尺	フ 10 尺	12 15 尺	3~6尺	フ 10 尺	12 15 尺									
自在桁A一1		1	_	_	1	_	_	1	_	_	_	_	_	_	_	_									
自在桁A一2		_	1 (1) <b>%</b> 1	_	-	1 (1) <b>%</b> 1	-	-	1 (1) <b>%</b> 1	_	1	_	_	-	_	_									
自在桁A一3		_	-	_	_	_	-	_	_	_	_	1 (1) <b>%</b> 1	_	1	_	_									
自在桁A一4		_	-	-	-	_	_	-	_	_	-	-	_	_	1 (1) <b>%</b> 1	_									
自在桁A一5		_	_	1	_	_	1	-	_	1	_	_	1	_	_	1									
自在桁B—1		1	1 (3) *1	3	2	2 (5) *1	5	3	3 (7) <b>※</b> 1	7	4	4 (9) *1	9	5	5 (11) *1	11									
垂木取付け金具	<b>\oints</b>	2	2 (6) *1	_	4	4 (10) **1	_	6	6 (14) ※1	_	8	8 (18) #1	_	10	10 (22) **1	_									
垂木取付け金具 12尺・15尺用		_	_	6	_	_	10	_	_	14	_	_	18	_	_	22									
自在桁B中間用キャップ	QD	2	2 (6) *1	6	4	4 (10) **1	10	6	6 (14) **1	14	8	8 (18) **1	18	10	10 (22) ※1	22									
前枠倒れ止め金具 (中間用)		1	1 (3) *1	3	2	2 (5) *1	5	3	3 (7) <b>※</b> 1	7	4	4 (9) *1	9	5	5 (11) **1	11									
前枠固定金具 ※2		2	2 (2) *1	2	2	2 (2) *1	2	2	2 (2) **1	2	2	2 (2) *1	2	2	2 (2) *1	2									
六角ボルトM6×12	<b>(3)</b>	2	2 (6) *1	6	4	4 (10) ※1	10	6	6 (15) **1	15	8	8 (19) ※1	19	10	10 (23) ※1	24									
平ワッシャー M6用	0	2	2 (6) *1	13	4	4 (10) **1	21	6	6 (15) ※1	29	8	8 (19) **1	37	10	10 (23) **1	47									
スプリングワッシャー M6用	<b>©</b>	2	2 (6) *1	9	4	4 (10) ※1	16	6	6 (15) **1	22	8	8 (19) ※1	28	10	10 (23) ※1	36									
袋ナットM6用	0	2	2 (6) *1	9	4	4 (10) **1	16	6	6 (15) <b>*</b> 1	22	8	8 (19) **1	28	10	10 (23) ※1	36									
ナベテクスねじ φ4×13	0	2	2 (6) *1	6	4	4 (10) ※1	10	6	6 (16) **1	16	8	8 (20) **1	20	10	10 (24) ※1	26									
ナベタッピンねじ (2種) φ4×15 (G=3)	<b>€</b>	4	4 (13) **1	13	8	8 (21) **1	21	13	13 (30) <b>*</b> 1	30	17	17 (39) <u>*</u> 1	39	21	21 (47) **1	47									
六角ボルトM6×80	<b>⊕</b>	-	-	3	_	_	5	-	-	7	_	_	9	_	_	11									

※1 ( )は、9尺・10尺を示します。 ※2 前枠固定金具は、左右1個ずつ梱包しています。

### ●自在桁セット

● BILIII E J I						員	数				
				150	00タ	イプ			300	)Oタ	イプ
名 称	略図	1.0	)間	1.5	5間	2.0	)間	2.5間 通し	1.0間	1.5間	2.0間
		3~6尺	フ〜9尺	3~6尺	フ〜9尺	3~6尺	7~9尺	3~6尺	30~6尺	30~6尺	3~6K
自在桁A一3		1	-	1	_	1	-	_	-	-	_
自在桁A一4		_	1	_	1	_	1	1			_
自在桁A一5		_	_	_	_	_	_	_	1	1	1
自在桁B-1		1	3	2	5	3	7	4	3	5	7
垂木取付け金具		2	6	4	10	6	14	8	6	10	14
自在桁B中間用キャップ	<b>D</b>	2	6	4	10	6	14	8	6	10	14
前枠倒れ止め金具 (中間用)		1	3	2	5	3	7	4	3	5	7
前枠固定金具 ※1		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
六角ボルトM6×12	(S)	2	6	4	10	6	15	8	6	10	15
平ワッシャーM6用	9	2	6	4	10	6	15	8	6	10	15
スプリングワッシャーM6用	<b>@</b>	2	6	4	10	6	15	8	6	10	15
袋ナットM6用	Θ	2	6	4	10	6	15	8	6	10	15
ナベテクスねじφ4×13 ナベタッピンねじ	8	2	6	4	10	6	15	8	6	10	15
プペタッピンねし (2種) φ4×15 (G=3)	<b>©‱</b> ⇒	4	13	8	21	13	30	17	13	21	30

※1 前枠固定金具は、左右1個ずつ梱包しています。

### ●自在桁端部部品セット

					員 数	ζ		
名 称	略図	A-1	A-2	А—3	A-4	A-4 Fタイプ 9尺	A-5	A-5 12尺 15尺
自在桁B		2	2	2	2	_	2	2
自在桁B一2		_	_	_	_	2	_	_
端部垂木取付け金具		2	2	2	2	2	2	_
端部垂木取付け金具 12尺·15尺用		_	_	_	_	_	_	2
自在桁B中間用キャップ		4	4	4	4	_	4	4
自在桁B一2用キャップ		_	_	_	_	4	_	_
自在桁B抜け防止用キャップ		1	1	_	_	_	_	_
前枠倒れ止め金具(端部用)		2	2	2	2	2	2	2
抜け防止金具		1	1	_	_	_	_	_
自在桁キャップA一1用 ※1		2	_	_	_	_	_	_
自在桁キャップA一2用 ※1		_	2	_	_	_	_	_
自在桁キャップA一3用 ※1		_	_	2	_	_	_	_
自在桁キャップA―4用 ※1		_	_	_	2	2	_	_
自在桁キャップA一5用 ※1		_	_	_	_	_	2	2
前枠固定金具 ※2		2	2	2	2	2	2	2
六角ボルトM6×12	⊗ <u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	2	2	2	2	2	2	2
平ワッシャーM6用	0	2	2	2	2	2	2	2
スプリングワッシャーM6用	<b>@</b>	2	2	2	2	2	2	2
袋ナットM6用 ナベテクスねじφ4×13		7	2 7	6	6	6	6	6
ナベタッピンねじ (2種) φ4×15 (G=3)	6)xxx=	5	5	5	5	4	4	4
トラスタッピンねじ (1種) φ4×12	6)xx>	2	2	2	2	2	2	2
取付け説明書	_	1	1	1	1	1	1	1

# ※1 自在桁A-1~5用キャップは左右1個ずつ梱包しています。※2 前枠固定金具は、左右1個ずつ梱包しています。

### ●自在桁連結材セット

		員数			
名 称	略図	A-1 A-2用	A-3 A-4用	A-5 3000用	A-5 12尺·15尺用
自在桁B		1	1	1	1
自在桁スリーブA―1・2用		1	_	_	_
自在桁スリーブA一3・4用		_	1	_	_
自在桁スリーブA-5用		_	_	1	1
垂木取付け金具	<b>\bigsim</b>	2	2	2	_
垂木取付け金具 12尺・15尺用		_	_	_	2
自在桁B中間用キャップ	Ø	2	2	2	2
前枠倒れ止め金具 (中間用)		1	1	1	1
穴ふさぎシール (φ10)	0	2	2	2	2
前枠固定金具 ※ ]		2	2	2	2
六角ボルトM6×12	<b>(5)</b> ************************************	2	2	2	2
平ワッシャーM6用	0	2	2	2	2
スプリングワッシャーM6用	9	2	2	2	3
袋ナットM6用	⊖	2	2	2	3
ナベテクスねじφ4×13	<b>(</b> )	10	10	10	10
ナベタッピンねじ (2種) φ4×15 (G=3)	<b>∂</b> ‱=	4	4	4	4
六角ボルトM6×80	<u> </u>	–	<u> </u>	_	1

<sup>※1</sup> 前枠固定金具は、左右1個ずつ梱包しています。

### ●自在桁スペーサーセット

名 称	略図	員 数			
名 称		1.0間用	1.5間用	2.0間用	
自在桁スペーサー		1	1	1	
ナベテクスねじφ4×13	<b>()</b>	5	5	5	